【5月まとめ】

4月は温暖な気候と適度な降雨あり、それまでの低温による生育停滞が薄れる傾向となったが、月後半は曇雨天が目立つあたりでもあった。堅調価格だったダイコンは中旬に神奈川産の終盤と千葉産の一時的減少が重なり相場上昇したが、下旬は千葉産の回復で相場反落。白菜は茨城産中心に春物への切り替わり以降、不安定な出荷で高値となっていたが、増量や気温上昇による需要低下で相場の下落が続いた。4月の野菜総体入荷量は前年比94%、キロ価格は278円(同118%)と堅調。

5月は果菜類での潤沢な出荷が見込まれ、キュウリ・トマトは年間で最も数量が多い時期となる。相場展開は軟調推移の予想だが、4月末天候不安定なため5月初旬の出回りに影響する可能性もある。レタスは茨城産から長野・群馬産へと移行が進む。後続産地は低温等により生育が遅れていたが、気温上昇により回復。茨城産の残量ある中で増量して産地リレーに問題はない模様。馬鈴薯は鹿児島産が4月に降雨で出荷が遅れた分、5月に増加。長崎産も前年並みの生育なため全体量は充分で相場軟化の気配。タマネギは佐賀産がまずまずの出方だが、残量少ない北海道産およびコロナ禍で十分に出回らない中国産を補うほどの数量はない。不足感が強くまだ高値が続くそう。一部を除き多くの品目で順調な出荷が予想されるため、5月の野菜総入荷量は前年を上回る予想。見通しkg価格は230円。年明け以降は野菜の高単価が続いたが、潮目が変わる気配がある。

根菜類

【だいこん】千葉産中心の出回り。気温上昇で品質低下が出ると引合い弱まり、相場の軟化が予想される。作付減の部分あり予想入荷量は前年比やや減。【にんじん】徳島産は出遅れていた分が出て数量充分。下旬には千葉産が数量まとも相場は弱含みの気配。全体量は前年比微減。【ばれいしょ類】鹿児島産は降雨等により4月に遅れた分が5月に出る気配。長崎産は生育遅れあるも回復傾向。予想入荷量は少なかった前年を上回り前年並み。【たまねぎ】佐賀・兵庫産ともに低温干ばつの影響を受け、前年を若干下回る見込み。

葉茎菜類

【はくさい】茨城産は転作で作付減の部分あり、予想入荷量は前年・前年をやや下回る予想。【キャベツ】神奈川県が盛期過ぎるも千葉産が最盛期へ。下旬は茨城産も増量して潤沢な出回り。全体量は前年・前年比微増と数量十分。【ほうれんそう】群馬・茨城産中心に順調出荷の見込み。岐阜・岩手産も出揃い全体量は潤沢。予想入荷量はやや多かった前年並みで前年以上。【ねぎ】茨城・千葉産とも生育順調。予想入荷量は前年をやや上回る。【レタス】茨城産は終盤を迎えるが残量あり。後続の長野・群馬産が増量して産地リレーに問題はない模様。予想入荷量は少なかった前年比微減で前年を下回る。

果菜類

【きゅうり】群馬・埼玉等、関東産は生育順調。全体量は少なかった前年並み〜微増。【なす類】高知・福岡・熊本産中心に群馬産の割合が増加。各地、生育順調。全体量は前年並み〜微増で、前年並み〜微減。【トマト】熊本・栃木・愛知産中心の出回り。各地、5月は順調な出回りが見込まれる。予想入荷量はやや少なかった前年並み〜微減で、前年をやや下回るか。【ピーマン】高知・宮崎産がシーズン最後のピークとなる中、茨城産も春物のピークを迎え潤沢な出回り。予想入荷量は前年をわずかに下回る。

その他

【アスパラ】栃木産は5月1週目までがピーク。5月の出荷量は前年並み。福島産は若干遅れており、5月連休明けからの出荷で、増量期は中旬頃。【ブロッコリー】福島産は生育順調。露地物が5月9日週から始まる。埼玉産は5月連休でピークは落ち着き、再度明けから増量するが、まとまった量は中旬まで。【らっきょう】鳥取産は前年並みの生育。5月21日から販売開始予定。鹿児島産は5月連休からピークに入るが、分けつ少なく前年比減。【うめ】和歌山産の着果は前年並み。南高は前年より1週間ほど遅い、6月6日週後半にピーク見込み。群馬産も低温で開花が遅れ、出荷開始時期は前年より1週間ほど遅い見込み。

5月主要品目産地別生育出荷情報及び単価見通し(全部扱い)

○強い ○#強保合 #保合 △#弱保合 △弱い 単位:円/kg,
主産県:()内数字は前年の全部入荷量構成比 出荷現状:A…出荷開始、B…最盛期、C…末期
(状況は2022年4月20日現在)

本資料の無断転載はご遠慮下さい。
記載内容の文責は営業管理部情報課
(電話番号:03-5492-2041)

だいこん

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
97	85	○#	△#	#	85	104%
販売見通し	前年は温暖な気候で千葉産が前進出荷されたことにより上旬から数量減。中旬以降は青森・北海道産が徐々に始まるも全体量は少なめの出回り。総入荷量は前年より1割以上少ないが価格82円は前年を1割下回った。 【本年】千葉産中心の出回り。連休期間の出回り量は限定的で価格は保たれるが、気温上昇にともなう品質低下が出ると引合い弱まり、相場の軟化が予想される。前年の単価安から作付減の部分あり予想入荷量は前年比やや減。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
千葉(73%)	ちばみどり(アグリタウン)	B	4月末から5月10日頃までは横ばいの出荷が続く見込み。月後半になると抽苔の影響が出てくるか。雨続きの予報なため、収穫が遅ると後々太物が多くなり箱数が増える気配もある。			

にんじん

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
113	125	#	#	△#	120	84%
販売見通し	前年は徳島産が順調に入荷。中旬からは終盤に向かい減少するも千葉・埼玉産が増量し数量十分な出回り。総入荷量は前年より1割少ないが価格143円は前年並みだった。 【本年】徳島産は出遅れていた分が出て数量充分な出回りに。下旬には終盤となり減少に転じるも千葉産が数量まとも相場は弱含みの気配。全体の予想入荷量は前年比微減。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
徳島(53%)	板野郡(栄)	BC	4月は降雨の影響から出方は少なめとなったが、今後天候が良ければ5月連休明けからは安定して出てくる見込み。生育も進んで、今まではS寄りのM中心だったがL比率も幾分高まってこよう。切り上がり時期は例年並み〜若干早い予想。			
千葉(35%)	ちばみどり(アグリタウン)	A	昨年末に播種した部分で低温による発芽不良が見られる。このため、例年5月頭からの出始めが中旬頃になる見込み。5月末〜6月上旬がピークとなる。5月の数量は出だしが遅れる分、例年より少なめと見る。			

きゅうり

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
277	280	△#	#	○#	250	97%
販売見通し	<p>前年は群馬・埼玉等の関東産が出荷ピークを過ぎたことや天候不順から落ち着いた出回りに。東北産が出始め漸増するも下旬には絶対量不足となり相場上昇が続いた。総入荷量は昨年より1割以上少なく、価格257円は昨年をやや上回った。</p> <p>【本年】群馬・埼玉等、関東産は生育順調で上旬には例年通り出荷のピークを迎える見込み。価格は上旬に底を打ち、以降は徐々に回復をたどる予想。4月末の天候が悪い予報のため5月初旬は出方が鈍ることも考えられる。全体の入荷量は少なかった前年並み〜微増。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
群馬 (26%)	邑楽館林	B	現状、天候悪く多くはないが、病害はないのでまずまずの出方となっている。4月中旬に多く出たのと、4月末には曇雨天が続く予報もあり今後の出方は落ち着いた形になる気配。ただ5月連休末日の出荷は例年通り山場となる模様。			
埼玉 (26%)	ふかや (北部)	B	無加温タイプは天候の影響で数量が伸び悩んだが、4月最終週からピークを迎えた。5月は連休の不安定な天気予報から数量への影響が多少懸念されるが、中下旬に再度最盛期を迎える予定。樹勢も問題なく、昨年並みの数量を見込む。			
宮城 (6%)	みやぎ登米	B	作付は前年と変わらずも燃料代の高騰・暖房の節約で定植を遅らせた部分あり。無加温タイプの出回りも始まり例年だと5月連休は増量の時期だが、天候が不安定な予報のため数量横ばいか。天候が安定して生育が進めば昨年並みの数量は出る予想。			

ばれいしょ類

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
245	230	△#	△#	#	180	63%
販売見通し	<p>前年は鹿児島・長崎産が降雨により掘り取りが停滞し、上旬は前月に続き少ない出回りで高値推移。中旬からは鹿児島産が終盤で減少するも、長崎産の掘り取り・出荷が復調。静岡県産も出始め増量したことから滞荷が進んで相場下落となった。総入荷量は昨年より1割近く少なく、価格287円は昨年を7割近く上回った。</p> <p>【本年】鹿児島産は降雨等により4月に遅れた分が5月に出る気配。後続の長崎産は生育順調で増量傾向となるが鹿児島産の出方と重なる相場軟化が予想される。相場が下がっても末端の価格は即には反映されず、荷動きは鈍めと見る。予想入荷量は少なかった前年を上回り昨年並み。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
長崎 (50%)	島原雲仙 (加津佐・愛野)	AB	4月25日から入荷始まる。本年産の栽培面積は微減。植え付けは例年通り11月下旬から始まったが、その後低温・干ばつの影響を受け、生育はやや遅れ気味。肥大はLサイズ中心も出始めは若干小ぶりの仕上がりが。現状、適度な降雨もあり生育遅れ、肥大とも回復に向かっており、5月は昨年並みの状況に回復の見込み。ピークは5月連休明けから。			
鹿児島 (28%)	鹿児島いずみ	BC	4月7日から入荷開始となった。玉伸びも回復傾向にあり、玉流れはL>2L>3Lサイズと順調。Lサイズ以上が8割弱を占める。5月連休前から量も出揃い、中旬いっぱいまとまった量が出てくる。降雨の影響で出荷のずれ込みもあり、5月の計画出荷量は前年以上。			
静岡 (6%)	とびあ浜松	A	東京市場の初荷は5月13日頃。栽培面積は前年と変わらず。種芋の量も十分に確保しており、植え付け作業も順調に終了した。現状、雨の日も多いが、防除対策はしっかりしている。玉伸びは今後の天候次第だが、地上部の状況からみて生育順調と見込まれる。5月の出荷量は昨年並みの量は出てこよう。			

たまねぎ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
251	265	#	#	△#	240	238%
販売見通し	<p>前年は佐賀・兵庫産が降雨多く出荷が少ないことから高値推移。兵庫産は大玉傾向が顕著、長雨から風乾が甘く品質低下し、量販需要の減退により荷動きが鈍化した。総入荷量は昨年より2割以上少なく、価格101円は昨年を2割上回った。</p> <p>【本年】佐賀産が増量となり価格が落ち着くかと予想されたが、中国産の剥き玉ねぎがコロナ禍のロックダウン等の影響で不十分な出回りで、国産の引合いが強まり高値が続いている。5月は兵庫産が出始めても佐賀産の増量が限定的であれば北海道産・中国産の少なさを埋めるには至らず高値は変わらずか。全体の予想入荷量は少なかった前年をさらに下回る。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
佐賀 (40%)	さが (白石)	B	現在、早生マルチの終盤に入り、露地早生が出始めた。露地早生は作付減と低温干ばつの影響で昨年より若干下回る数量だが、昨年並みの出荷ペースで推移しよう。中心サイズはL。			
兵庫 (11%)	あわじ島	A	天候不良の影響で収穫が進まず出荷は遅れているが、5月連休から徐々に数量はまとまる。低温干ばつによる小玉傾向を受け、昨年並み〜若干減の見込み。連休明けからピークに入る。			

なす類

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
360	360	△#	#	#	370	94%
販売見通し	<p>前年は高知・福岡・群馬産等の出回りで、天候不良から全体量は多くなかったが荷動きは停滞。下旬には高知産での数量減や品質低下もあり不足して相場上昇し、関東産への移行が進んだ。総入荷量は昨年より1割近く少なく、価格394円は昨年並みだった。</p> <p>【本年】高知・福岡・熊本産を中心とした中で群馬産の割合が増えることで、相場の基調としては軟化するも全体単価は持ち上がる。各地、生育は順調で十分な数量が見込まれることから荷動きは鈍めの予想。全体入荷量は前年並み〜微増で、昨年並み〜微減。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
高知 (42%)	高知県 (あき)	B	3~4月は前倒しな出方で増えたが、4月中旬からは樹勢が弱まった。天候が良いため足元では回復傾向で、5月連休明けには増量か。病害もなく、5月の数量は前年を上回る予想。			
福岡 (16%)	南筑後 (瀬高)	B	例年4月下旬はピークとなるが、本年は上旬に多く出たので下旬から5月連休にかけては出方が落ち着く見込み。生育自体は良好。			
群馬 (14%)	にったみどり	B	作付は前年比若干増。天候が悪く現状では遅れ気味だが、5月連休明けには出荷の山場となる見込み。5月は漸増傾向が続く形に。天候が安定すれば昨年並みの数量はある予想。			

レタス

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
197	160	#	#	#	160	96%
販売見通し	<p>前年は茨城・兵庫産がピークを過ぎて減少へ。後続の長野・群馬産が増量して上旬は荷動き鈍化から相場下落。中旬以降は群馬産での干ばつや長野高冷地での低温による生育遅れから数量不足となり相場は上昇した。総入荷量は前年より2割少なく、価格135円は前年並みだった。</p> <p>【本年】茨城産は終盤を迎えるが残量あり。後続の長野・群馬産が増量して産地リレーに問題はない模様。全体の予想入荷量は少なかった前年比微減で前年を下回る。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
長野(44%)	洗馬	AB	当初は生育が遅れ気味だったが、足元では3日程度早い形となっている。5月連休頃にはまとまった数での出荷となる見込み。作付は高齢化等により若干減。			
群馬(29%)	利根沼田(糸之瀬)	AB	雨が多すぎるきらいがあるが、生育は概ね順調。4月末から増量し、数量面では前年並みを見込む。			
茨城(19%)	北つくば(結城)	BC	作付面積は大口生産者の転作もあり、前年を下回る。一部病害の発生はあるが、出荷への影響は小さく、生育概ね順調。現状、ピーク中盤を迎えており、5月20日頃までまとまった量が出てくる。作付減のため、数量前年を下回るも見込みも、出荷状況は例年通りに安定している。			

はくさい

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
92	55	#	○#	#	65	138%
販売見通し	<p>前年は茨城産が順調入荷。前進傾向で中旬からは減少傾向となるも長野産が漸増。全体量としては多くなかったが需要期過ぎて引合い弱く安値基調。総入荷量は前年並みだが価格47円は前年を3割近く下回った。</p> <p>【本年】茨城産は転作で作付減の部分あり、予想入荷量は前年・前年をやや下回る予想。気温上昇で量販店需要は減退するが、数量次第では相場が引き締まる可能性もある。長野・群馬産が下旬から出始める見込みも現状では若干生育の遅れが見られる。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
茨城(94%)	北つくば(結城)	BC	遅れも回復が進み、収穫進度も早い。玉伸び良好で平箱中心の出荷状況となっている。5月20日頃まで潤沢な量が出回る。圃場によっては抽苔が散見されるが、出荷への影響は小さく、出荷量に不足はない。			

ピーマン

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
488	480	#	△#	#	380	96%
販売見通し	<p>前年は茨城・高知・宮崎産が概ね順調入荷。荷動きは停滞気味だったが下旬には天候不良から出回り少なく引合いが強まった。総入荷量は前年よりやや少なく、価格396円は前年をやや上回った。</p> <p>【本年】高知・宮崎産がシーズン最後のピークとなる中、茨城産も春物のピークを迎え潤沢な出回りに。予想入荷量はやや少なかった前年並みで前年をわずかに下回るか。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
茨城(69%)	なめがたしおさいほか	B	曇雨天による生育停滞はあったが、気温上昇により回復傾向となっている。5月の数量は前年・前年並みの見込み。			
宮崎(17%)	宮崎中央	BC	増量期だが天候が不安定なため数量横ばいに留まっている。今後は天候良くなるので肥大は早くなるも、急激な増量とはならず微増程度の見込み。終盤に入るため、以降はだらだらとした出方となる。5月の数量は前年をやや下回るか。			

トマト

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
359	330	△#	△#	△#	270	95%
販売見通し	<p>前年は熊本・栃木・千葉産が順調に入荷し月を通して数量は十分であった。下旬は熊本産が盛期を過ぎて減少したことや価格がこなれたことから荷動きが出た。総入荷量は前年より1割少なく、価格283円は前年をやや上回った。</p> <p>【本年】熊本・栃木・愛知産中心の出回り。各地、4月中旬までは気温の底が低かったことから着色の停滞など起きたが、その後は回復傾向も見られ5月は順調な出回りが見込まれる。それでも熊本産での病害や各地の作付減傾向により予想入荷量はやや少なかった前年並み～微減で、前年をやや下回るか。年間では最も多くなる時期のため相場は軟調推移の予想。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
熊本(30%)	八代地域	C	4月下旬の数量のまま、5月中旬まで横ばいの出方となる見込み。下旬からは小玉化してくる予想。			
	玉名	B	これまで数量が出ていなかった分、ここに来て夜温が上がって増量傾向となっている。5月連休頃がピークになると見込まれる。その後はだらだらとした出荷となるも、5月全体量は前進化した前年を上回る予想。			
栃木(23%)	うつのみやしもつけほか	B	生育は概ね順調。小玉傾向であったが今後は肥大が進んでこよう。5月の数量はやや少なかった前年並みで前年を下回る予想。			
愛知(11%)	ひまわりほか	B	小玉傾向であったがL中心に玉伸びしてきた。4月末～5月上旬にはピークに入り潤沢な出荷となる見込み。			

ほうれんそう

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
470	480	△#	#	△#	400	108%
販売見通し	<p>前年は群馬・茨城産が上旬に出荷の山場となり増量。潤沢な出回りから相場下落した。中旬からは天候不順もあり数量落ち着き、荷動きは良好だった。総入荷量は前年より1割近く多く、価格372円は前年を1割以上、下回った。</p> <p>【本年】群馬・茨城産を中心に順調な出荷となる見込み。岐阜や岩手産も出揃って全体量は潤沢。予想入荷量はやや多かった前年並みで前年以上。</p>					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
群馬(39%)	利根沼田(糸之瀬)	B	曇雨天の日が多く、品質低下が見られる。気温も上がるので病害も心配である。5月数量は今後の天候次第。			
茨城(36%)	茨城旭村	BC	播種は不足なくできている。現在、生育順調に推移している。5月出荷量は潤沢出荷した前年並みを見込むも、気温上昇による品質レベル、収穫作業の人手等の状況によって多少の増減が予想される。			
岩手(4%)	新しいわて	AB	現状、生育は伸び悩んでいる部分はあるが、連休明け頃からは増えてくるか。5月の数量は前年並み～若干少ない予想。			
岐阜(4%)	飛騨(高山)	AB	例年3月上旬には播種が始まるが、本年は残雪のため播種作業が2週間遅れた。前年は4月中旬に入荷開始となったが、本年は4月28日頃となる見込み。出始めは前年より遅れるも、生育自体は順調。作付面積は若干減少のため、出回り量は前年並み～微減の見込み。			

キャベツ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
110	90	△#	#	△#	70	109%
販売見通し	前年は神奈川県産が終盤に向け減少するも千葉・愛知産が順調入荷。茨城産も増量が続き全体量は十分で安値基調。総入荷量は前年並み、価格64円は前年を3割下回った。 【本年】神奈川県産が盛期過ぎて減少するも残量ある中、千葉産が最盛期へ。下旬には茨城産も増量して潤沢な出回りに。全体の予想入荷量は前年・前年比微増と数量十分。相場は軟調推移の予想。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
千葉(45%)	ちばみどり(アグリタウン)	B	生育はやや遅れ気味。4月下旬で日量20,000～30,000ケースの出方だが、月末には60,000のペースに増量。5月の数量は前年並みか、遅れた分が出るためやや多い予想。			
神奈川(17%)	三浦市	BC	3月までは低温や干ばつにより数量伸び悩み少なかった。4月中旬でも計画を割る出方だったが、足元では気温上昇や降雨もあり増量した。今後、雨が多いと圃場に入らず収穫が停滞して品質の懸念は生じるが、出荷が後ずれしている分、5月上旬の出方は前年より多くなるか。			

ねぎ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
308	330	○#	#	△#	400	96%
販売見通し	前年は千葉・茨城産が生育順調で太め傾向。月を通して数量十分で荷動きは鈍かった。総入荷量は前年並み、価格415円は前年並みだった。 【本年】茨城産は生育順調。初夏ねぎの増加で単価は押し上げられる形となるも、下旬には出荷ピークで相場軟化の気配。千葉産も生育順調。予想入荷量は前年比微増で前年をやや上回る。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
茨城(58%)	岩井	B	春ねぎは今後減少傾向となるが、初夏ねぎは増量へ。適度に降雨あり気温も暖かいことから生育は順調。ピークは5月下旬～6月いっぱいとなる。現状L・M中心のやや細めながら、気温上昇とともに2Lの比率も高まってこよう。			
千葉(24%)	ちばみどり(そうさ)	B	例年通り春ねぎは5月10日まで、「臈月ねぎ」は5月1～20日まで出回る。4月15日から「プレミアム夏ねぎ」が販売開始となり、5月末で終了予定。現状、ねぎ総体に生育概ね順調に推移している。プレミアムの出始めは太物比率は高く、5月はL・Mサイズ中心と肥大は前年並み。全体量は前年とほぼ横ばい。			

その他の野菜

品目	県名	産地	生育・出荷情報
セルリー	静岡	とびあ浜松	2期作の最終ピークは5月連休あたり。ハウス作のため降雨の影響はないが、夜温高く出荷ペースは若干早め。太りは良く、2Lサイズ中心の仕上がり。切り上りは例年通り5月末だが、出荷前進傾向のため終盤ほど減り込み早まる模様。栽培面積は微減により、出回り量は前年比95%とやや減。
	長野	信州諏訪	生産者の減少はみられるも栽培面積はほぼ前年並み。1月当初から苗の配布が始まり、3月上旬に加温ハウスに定植された。初出荷は5月9日予定と例年通り。2～3月の気候変動は不安定ながらも、前年作と概ね順調。2Lサイズ中心に前年並みの出回り量と見込まれる。

アスパラガス	栃木	なすの(湯津上)	生育は良好だが、若干遅れている。4月の最終週～5月1週目までがピーク予定。5月の出荷量は、前年と同程度の見込み。
	福島	会津よつば	露地物は5月連休明けからの出荷で、ピークは5月中旬頃を見込む。低温の影響で多少遅れているが、順調な生育。前年よりハウス物の作付が増え、露地物の作付が減った影響で、5月の出荷量は若干減の見込み。
ブロッコリー	福島	夢みなみ(しらかわ)	適度な降雨と気温上昇で生育は概ね順調。現在、ハウス物が少量出始め、5月連休には出揃う。露地物は5月9日頃から早い作が始まり、20日頃にピークを迎える見込み。
	埼玉	埼玉岡部	現在ピークを迎え、例年通り5月連休前に落ち着く。明けから再び増量するが、ピーク時の数量までには至らず。中旬には出荷のめどがつき、以降は減少する。
南瓜	輸入	メキシコ	4月末から出回り始めるが、本格的な入荷は5月連休明けから。船便が不安定なことに加え、作柄がやや悪く、5月の入荷量は減の予想。
	鹿児島	そお鹿児島	作付面積は微減。生育は概ね順調だが、前年より1週間ほど遅く、まとまった数量が出るのは5月連休明けから。後ろにずれ込むことから、5月の出荷量は前年比減の予想。サイズは6玉中心。
ゴーヤ	沖縄	沖縄県農協	生育は良好だが、若干遅れている。5月8日「ゴーヤの日」付近にピークを迎える。5月の出荷量は、前年より少ない見込み。
らっきょう	鳥取	鳥取中央	作付はほぼ前年並み。1～2月に降雪量が多かった影響で生育は遅れていたが、4月以降の気温上昇で前年並みまで回復しつつある。分けつも順調に進んでおり、前年並みの数量を見込む。5月21日に販売開始予定。
	鹿児島	南さつま(加世田)	作付は前年並み。生育は若干遅れ、分けつが少ないため、前年に比べて数量減の見込み。東京市場では4月25日から販売開始し、5月連休明けからピークに入る。
葉生姜	静岡	静岡市	作柄は前年並みだが、若干遅れ気味で、現在～5月連休前までがピークとなる。6月末まである程度の数量があり、7月初旬には減少する見込み。5月の出荷量は前年並みを見込む。サイズはL中心。
うめ	和歌山	紀州紀南	生育は良好だが、低温の影響で前年より1週間程度遅れている。着果は前年並みで、順調に肥大が進んでいるが、今後の天候次第。【南高】6月6日「梅の日」週後半にかけてピークに入る見込み。
	群馬	はぐくみ(はるな)	低温で開花が遅れたが、受粉期の環境は良く、比較的良かった前年並みかそれ以上を見込む。しかし圃場によっては強風も確認されており、着果状況はこれから。【小梅】5月10日頃から出荷開始で、5月中下旬が増量期の予想。【白加賀】前年より1週間ほど遅い、5月下旬頃から出荷予定。